年度末報告書（実行団体用）
※報告書内の青文字・緑字（CCF 加筆）は説明内容、赤文字は文字数上限になりますので提出時には削除してください。

事業計画より転記してください

| 1年目　年度末報告書 | |
|---|---|
| **1. 事業名** | **自然と生きる若者の集団プロジェクト** |
| **2. 実行団体名** | **特定非営利活動法人馬瀬川プロデュース** |
| **3. 実施期間** | **2020 年 3 月～ 2023 年 3 月** |
| **4. 報告期間** | **2020 年 10 月 1 日～2021 年 3 月 31 日** |
| **5.事業進捗に関する報告（概要）** | **進捗状況** |
| **中長期アウトカム**<br>馬瀬地区及び加子母地域での地域活性化の取組みがすすみ、都市部等から多くの若者たちが訪れて地域支援活動等を行い、自然豊かな地域の魅力が再認識され、地元に住み続けることの意義と自信を持つ人材が増加する。自然環境への関心が高まり、馬瀬に住みたいという人が増えている。 | |
| **短期アウトカム**<br><br>1　アスレチック、プチ留学、地域支援ボランティア活動等の参加者の中で、馬瀬に住みたいという人が増加している。<br>2　来訪者と地域住民の交流や、両者が自然環境を体験する中から、起業する機会・人材が増えている。<br>3　地域外の人々と地域住民との様々な交流を通じて、地域に誇りや愛着を持つ地域外の人々や地域住民、地域内従業者が増えている。 | 1　その他（計画見直しで、アスレチック、プチ留学は除外し、地域の要望に基づき活動メニューとした。）計画より遅れている。<br>2　計画より遅れている。<br>3　計画より遅れている。 |

| アウトプット | |
|---|---|
| **1-1　アスレチック等のイベントの実施を通して、地域への入込者が増え、自然の素晴らしさへの理解が進む。** | 1－1　メニューを変更して実施することとした。計画より遅れている。 |
| **1-2 自然豊かな地域であることを実感するためにも、地元住民に自然環境整備活動に参加を促す。** | 1－2　計画中。計画より遅れている。 |
| **1-3 地元のこどもたちや活動するメンバーが、地域に愛着を感じるようになるため、寺子屋での学習支援、自然環境の勉強会を実施する。** | 1－3　計画より遅れている。 |
| **2-1 地域環境の維持、及び、地域住民との交流促進に向けて、道路の草刈り、河川・用水路等の地域支援ボランティア活動を実施する。** | 2－1　河川清掃は実施。その他は、計画より遅れている。 |
| **2-2 空き家の実態把握・整備等、地域に住める環境づくりを推進する。** | 2－2　空き家調査は実施中。計画より遅れている。 |
| **2-3　来訪者の増大や地域への評価を高めるために 「プチ留学」を実施する。** | 2－3　プチ留学は、メニュー変更。計画より遅れている。 |
| **3-1 入込者の自然体験を経た自然・環境に関する関心の高まりについて把握するために、調査を行う。** | 3－1　計画より遅れている。 |

**6.事業進捗に関する報告（詳細）**

報告期間中に実施した活動（事業計画の「活動」）について、記載してください。

1-1 コロナの影響等運営上困難となったため、森林アドベンチャー等の活動は計画から除外した。

1-2 ＮＰＯかしもむら、木匠塾、アイチカラによる協議体と連携して、馬瀬地域の環境について、密集を回避するため分散型による各組織の代表者による地域資源等の掘り起こしを行うため現地調査を（延べ３回）実施した。

1-3 上記協議体と連携して、本年度計画していた寺子屋による学習支援、支援員の育成、自然環境勉強会等を、コロナの影響で実施困難となったため 2021 年度以降の計画に盛り込み、2021 年度以降に実施することとした。

2-1 上記協議体と連携して計画していた草刈り講習会及び草刈りボランティアは、コロナの影響で、実施困難となった。2021 年度以降に本格実施する。なお、河川清掃事業は、「馬瀬川クリーン作戦」として、学生を中心に協議体メンバー10 名で実施し、約 70 kgのゴミを回収すると共に、清流馬瀬川の景観保全対策等について学習した。

2-2 協議体メンバーで実施する予定の現地調査は、コロナの影響で実施困難となり、（特に、学生団体木匠塾及びアイチカラの現地に移動が困難）、地元の専門団体に委託し、農業放棄地調査を実施して「草刈りマップ」を作成した。調査は、地理情報システム（GIS）のほか、農水省の農地の区画情報（筆ポリゴン）等を活用した地図に、現地調査による耕作放棄地、空き家等の情報を加えるなど、現地の実態がデジタルに把握できるよう、取組を開始した。

2-3 プチ留学の取組みは、コロナの影響で外国からの入込が困難となったため取り止めることとした。今後は、都市部を中心とした大学生、高校生の他小中高生に地元の小中・高校生たちを加え、寺子屋活動を実施し、夏休みの宿題支援のほか、自然科学教室を実施することとしている。コロナの影響により、本年度実施は困難となり、2021 年度以降に実施する。

3-1 コロナの影響で、当該地域への若者の入込が困難であったが、8 大学（京都、京都造形、京都繊維、立命、滋賀県立、名城、金沢工、東洋）の学生代表及び、アイチカラ、ＮＰＯかしもむらの代表が分散して現地踏査を実施したほか、ズームによる現地把握等により、地域内資源調査等を実施した。

**7.資金計画に関する報告**

① 資金計画どおりの執行状況ですか。　：　計画どおり進んでいる。

② 報告年度に用意する予定だった自己資金は集めることができましたか。：　計画どおり進んでいる。

**8.報告期間における課題と次年度にむけた取り組みと**

以下の観点を含めて記載してください。

・進捗状況が「計画より遅れている」場合の理由と対策

予定していた外国人メンバー（ＷＷＯＯＦ，World Wide Opportunities on Organic Farms」、有機農場を核とするホストと、そこで手伝いたい・学びたいと思っている人とを繋ぐ。）を活用し、森林アドベンチャー、プチ留学を計画していたが、コロナの影響で、本計画期間内に来日が困難となったため、本事業における実施はキャンセルし、本計画期間内には実施困難となることが予想されることから、本事業から実施主体を切り離し、ともに連携して活動することとした。

活動の主体は、地域住民を中心とした地域コミュニティーの構築とし、都市部からの学生や若者を現地に大量に移入して、高齢化が進む当該地域において、地域住民が希望するメニューのボランティア活動等を、本事業の中心に実施するととした。特に、地域住民との交流を親密化して、学生が自然の中で学習し地域文化の継承、資源の掘り起こしを行うなど、都市と農村の交流活動を目指すこととしている。

しかし、期待する学生はじめ、都市部からの若者の入込は、コロナの状況を見据えながら実施することとなり、本年度においては、当初計画していた活動のほとんどが未実施となった。

学生らの地域への入込は、各大学によって学生の行動や学外での活動範囲についての異なるが、会として、コロナ感染防止のためのガイドラインを決めると共に、これを遵守し、入込する学生は、感染防止対策（ガイドライン）を徹底遵守した上で、小グループ単位で五月雨的に現地調査等を実施した。また、テレワーク（ズーム等による現地把握など）により調査を行った。この取組みによって、次年度以降の活動について、活動の可能性を共有することとなった。

・次年度の計画の見直しの必要性有無と変更概要

コロナの蔓延の状況に左右されるが、基本的には当初計画（一部見直しによる変更計画）による事業を 2021 年度以降に実施することとしている。

具体的な活動のメニュー及び手法については、さらに、具体化することとしている。

**9.広報に関する報告**

以下に該当する内容がある場合には、概要を記載してください。提出可能な場合は PDF データ等を添付してください。

・メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）：日付、記事名、媒体、制作目的、概要、リンク先、部数等を記載してください。

・広報制作物等：当該事業費を使って製作したもの（出版物、印刷物、被服等、事業費を使って対外的に当事業を訴求するために制作されたもの）について制作物の種類、発行・製作時期、概要リンク先、部数等を記載してください。

：　メディア掲載はない。

：　馬瀬地域住民を対象とした「住み方アンケート」調査を行い、住民の意識、要望等の把握を実施し、これに基づく分析を行っている。

：　アンケート調査の結果について、「住み方アンケート結果速報：広報」を発行し、全地域及び、地域内の関係機関等に配布を行った。（令和 2 年 8 月 7 日アンケート調査開始、10 月 9 日回収、速報配布 12 月 19 日）

・報告書等：JANPIA に提出する報告書以外に、対外的に報告書を提出した場合は、報告書提出日、提出先等を記載してください。

：なし。

**10.規定類の整備に関する報告**

① 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。：　完了している。

② 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。： 全て公開している。
→②で「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：【550 字以内】
③ 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。： はい
→③で「いいえ」を選択した場合の理由：【550 字以内】

**11.ガバナンス・コンプライアンスに関する報告**

①社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。： はい/
総会、理事会で周知した。なお、コロナの影響等により、一部（2 回）持ち回り決済を実施し、その際に周知した。
→①で「いいえ」を選択した場合の理由：【550 字以内】
②内部通報制度は整備されていますか。： はい／
→②で「はい」の場合は、設置方法（複数選択可）： 代表理事に通報としている。
③利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。： はい ／ 理事会の際に確認している。
→③で「いいえ」を選択した場合の理由：【550 字以内】
④関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。： はい/
→④で「いいえ」を選択した場合の理由：【550 字以内】
⑤コンプライアンス委員会（※）は定期的に開催されていますか。： いいえ／ 多忙のため、定期的には実施は困難。理事会で、常に話題としている。
※ コンプライアンス委員会を設置していない実行団体は、担当部署または担当者に報告の対象となる不正行為を資金分配団体に報告済かを回答してください。
報告の対象となる不正行為とは、資金分配団体-実行団体間の資金提供契約書第 15 条に定めるものです。
→⑤で「いいえ」を選択した場合の理由：【550 字以内】多忙であること、その必要性が低いこと。
⑥報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）： 内部監査を実施
→⑥で「実施する予定がない」を選択した場合の理由：【550 字以内】

**13.活動の写真**

活動の写真がある場合には貼り付けてください。（画像データは 1 枚 2MG 以下で 3-4 枚程度としてください。）

空き家・建造物調査

森林空間の総合的利用調査

草刈りマップ作成企画調査

地域住民への聞き込み調査